

# 文化財防災ネットワーク推進事業シンポジウム



## 地域防災と文化財 — 自然災害を知り、地域の貴重な文化的資源を守り、伝える

自然に恵まれ、長い歴史を刻んできたわが国には、どの地域にもその地域の歴史と文化を物語る文化財—文化的資源が豊かに残されています。しかし、自然はしばしば容赦なく猛威をふるって地域を破壊し、文化財の喪失を招きます。近年の急激な過疎化・少子化の進行によって文化財の維持管理が困難になっている地域では、そのような自然災害が致命的な打撃となる場合もあります。

こうした中で、関係団体や専門家の情報共有と連携を促進し、自然災害による文化財の被害を最小限にとどめ、災害発生時の迅速な救出・救援を実現することを目的として、平成26年度から、文化庁の補助金による「文化財防災ネットワーク推進事業」が実施されています。

特に、地域文化財の防災には、地域の方々の理解が不可欠です。今回のシンポジウムは、「地域の文化財—文化的資源」に焦点を当て、地域防災の考え方、地域の取り組み、地域にとっての文化財の意味と文化財が未来に果たす役割、というテーマでそれぞれ専門家の方々にお話しいただきます。

平成31年

2月10日(日)

13:00-16:50 (開場12:20)

京都国立博物館

〒605-0931 京都府京都市東山区茶屋町527

平成知新館 講堂

聴講: 無料 定員: 200名 (先着順)

(上) 西日本豪雨により冠水した真備町周辺(岡山県倉敷市) [写真提供: 朝日新聞社]  
(下) 大阪府北部地震により被災した国史跡・名勝松花堂庭園「泉坊」書院の蔵  
(京都府八幡市) [写真提供: 八幡市立松花堂庭園・美術館]



主催者挨拶 松村恵司(国立文化財機構理事長・奈良文化財研究所長)

開催館挨拶 佐々木丞平(京都国立博物館長)

趣旨説明 岡田健(国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進室長)

基調講演 **自然災害発生メカニズムと地域防災の考え方**  
三村衛(京都大学大学院 工学研究科教授)

講演1 **京都市の取り組み**

①平成30年夏の自然災害による文化財被害とその対応  
中川慶太(京都市文化市民局 文化財保護課長)

②京都市における文化財防火について  
～みんなで文化財を火災からまもろう～  
目片貴美子(京都市消防局 文化財係長)

[休憩: 約20分]

講演2 **地域文化の保全と文化財防災—民俗学が果たす役割**  
大石泰夫(盛岡大学 文学部教授)

講演3 **地方創生と文化財—自然災害から文化財を守る強じんな体制とは**  
豊城浩行(文化庁 文化財鑑査官)

閉会挨拶 朝賀浩(京都国立博物館 学芸部長)

[シンポジウム参加について]

- ・本シンポジウムは、事前申し込みはありません。当日会場に直接お越しください。
- ・当日、京都国立博物館の観覧券を購入し、入館されている方は聴講自由です。ただし、シンポジウム終了後は観覧時間がないのでご注意ください。
- ・シンポジウムのみにご参加される方には、南門の受付にて12:00からシンポジウム聴講のための整理券をお渡しします。シンポジウム開場前または途中退席されてから館内の展示を観覧するためには、別途観覧券(有料)が必要です。

[主催] 独立行政法人国立文化財機構 [後援] 京都市、朝日新聞社



平成30年度  
美術館・歴史博物館  
重点分野推進支援事業

[シンポジウムに関するお問い合わせ]

独立行政法人国立文化財機構 文化財防災ネットワーク推進室  
〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館内  
TEL/03-3822-1111(代表) E-mail/info\_bosai@nich.go.jp  
<https://ch-drm.nich.go.jp/>

[京都国立博物館に関するお問い合わせ]

京都国立博物館  
TEL/075-525-2473(テレホンサービス)  
<https://www.kyohaku.go.jp/>